

「屋外広告物と防犯、GAPに関するアンケート」実施報告書

「屋外広告物と防犯、GAPに関するアンケート」のアンケート実施結果を、下記のとおりご報告いたします。

この度は、「屋外広告物と防犯、GAPに関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。

結果につきましては、今後の取組に活用させていただきます。

アンケート概要

- 1 実施期間 平成30年10月17日から平成30年10月31日まで
- 2 対象者数 1145人
- 3 回答数 794人
- 4 回答率 69%
- 5 回答者属性

年代別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	4人	47人	168人	225人	171人	140人	39人
割合	0.5%	5.9%	21.2%	28.3%	21.6%	17.6%	4.9%

地域別

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	400人	211人	92人	69人	22人
割合	50.4%	26.6%	11.6%	8.7%	2.7%

※北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中勢：津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

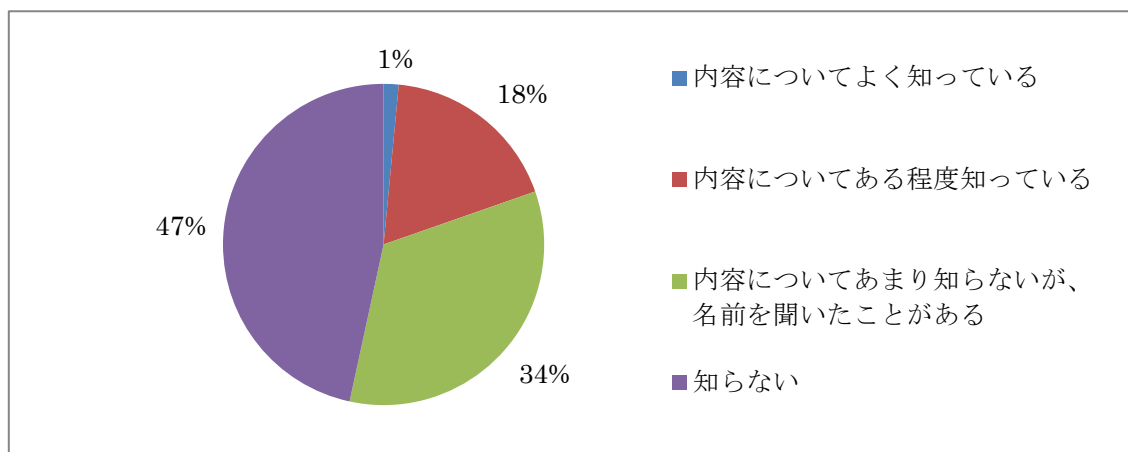
伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

アンケート結果

Q 1 屋外広告物の設置について

あなたは、「三重県屋外広告物条例」により、看板やポスターなどの※屋外広告物を設置する際に、「原則許可が必要」などの規制を行っていることをご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。



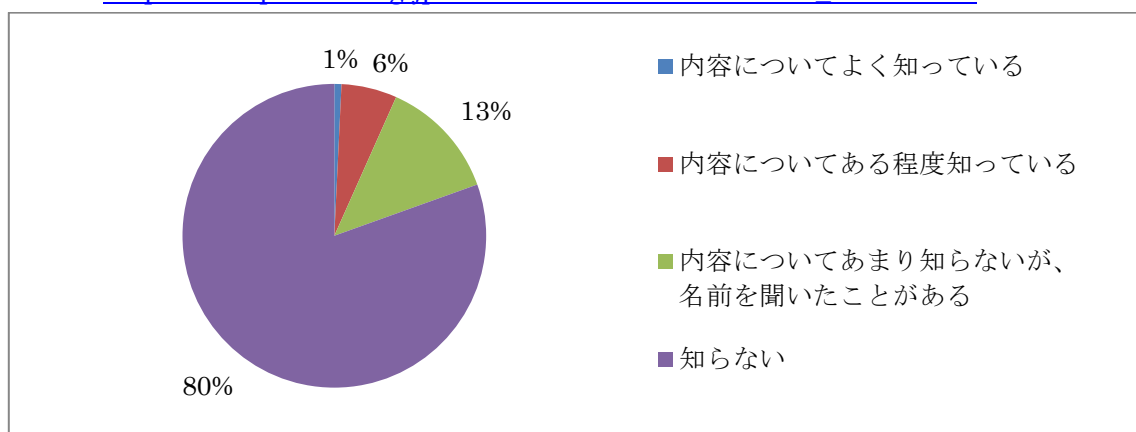
約5割の方が、「屋外広告物」の名前を知っており、特に約2割の方が規制の内容についても知っているという結果になりました。その一方で、約5割の方は、屋外広告物条例があることを「知らない」という状況ですので、今後も幅広い周知活動を行っていきます。

Q 2 屋外広告物の安全点検について

あなたは、すべての屋外広告物(立看板やポスターなどの簡易なものを除く)に対して、平成30年10月1日より点検が義務付けられていることをご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※安全点検の内容については、下記のアドレスをご覧ください。

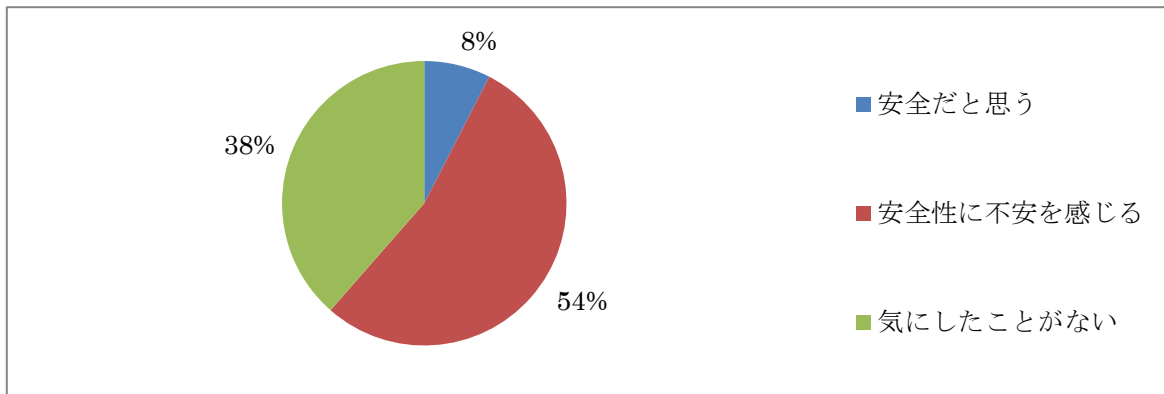
URL : http://www.pref.mie.lg.jp/KEIMACHI/HP/000125281_00001.htm



「知らない」と回答した方が8割でした。平成30年3月の条例改正以降、テレビやラジオ、広報誌などさまざまなメディアを用いて周知活動を行ってきましたが、今後も引き続き周知啓発に力を入れていくとともに、他のメディアの活用なども検討していきます。

Q 3 屋外広告物の安全性について

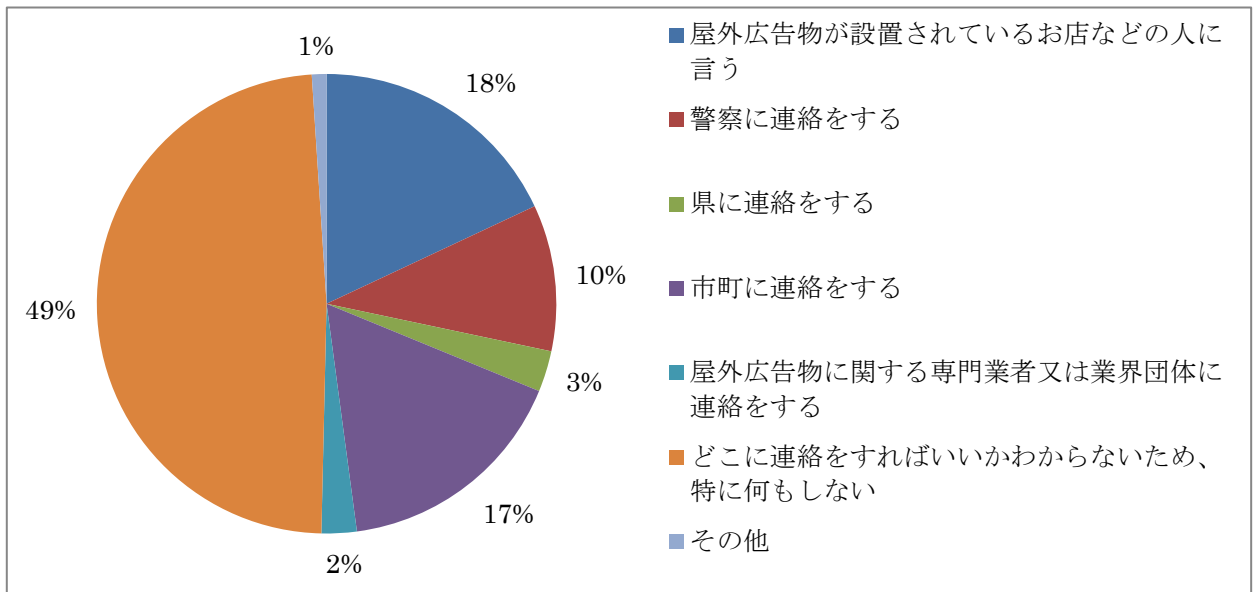
あなたは、街の中にある屋外広告物は安全だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。



「安全性に不安を感じる」との意見が半数以上を占めたことから、行政関係者によるパトロールや関係団体との合同まち歩きなどを行い、危険な広告物の早期発見と設置者・管理者による早期対応を促すようにしていきます。

Q 4 危険だと感じる屋外広告物について

あなたは、もし街の中で危険だと感じる屋外広告物を見つけた場合どうしますか。あてはまるものをすべて選んでください。

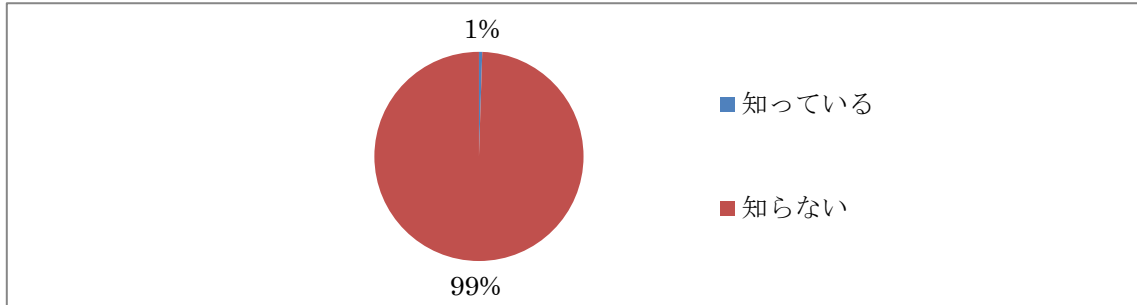


危険な広告物を発見した際には、いち早く対応する必要がありますが、「どこに連絡をすればいいかわからないため、特に何もしない」という回答が約5割でした。このため、危険な広告物があった場合は、取り急ぎ、県建設事務所管理課又は各市町（H30 現在は、津市、鈴鹿市、松阪市、大紀町）に連絡していただくよう、周知活動を行ってまいります。

Q 5 看板相談窓口について

あなたは、広告業の専門団体である三重県屋外広告美術協同組合が実施している看板相談窓口をご存じですか。

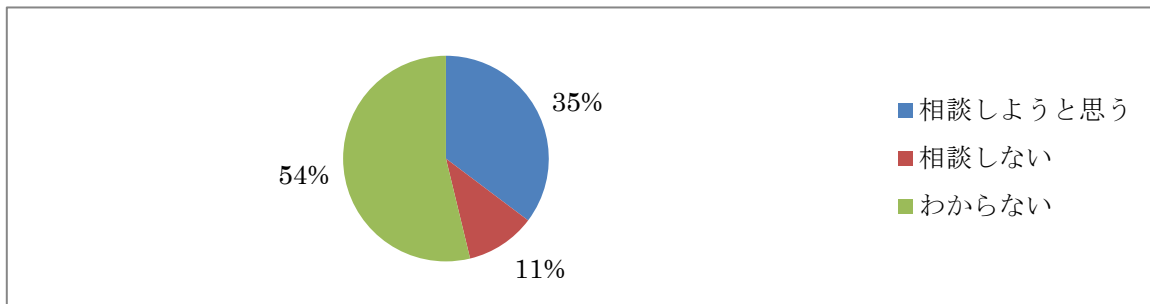
※相談窓口 URL : <http://www.pref.mie.lg.jp/TOSHIKI/HP/p0016200011.htm>



平成30年8月末日から看板相談窓口を設置したため、全く知られていない状況ですが、知名度と利用度の向上をめざし、幅広く周知していきます。

Q 6 看板相談窓口の利用について

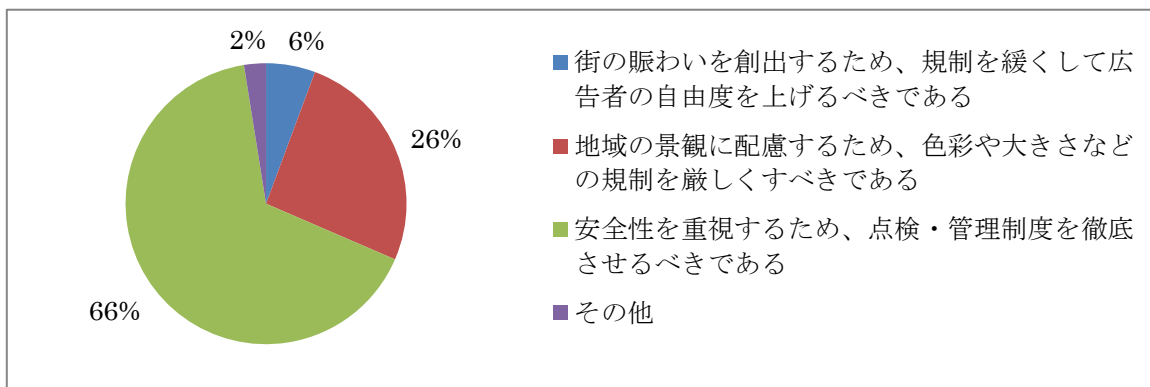
あなたは、屋外広告物の安全性に不安を感じたら、Q 5 の看板相談窓口を利用しますか。



「相談しない」と「わからない」を合わせた回答が65%あったことから、周知啓発を行うとともに、どのような方にとっても利用しやすい屋外広告物相談窓口になるよう業界団体と検討します。

Q 7 屋外広告物の規制について

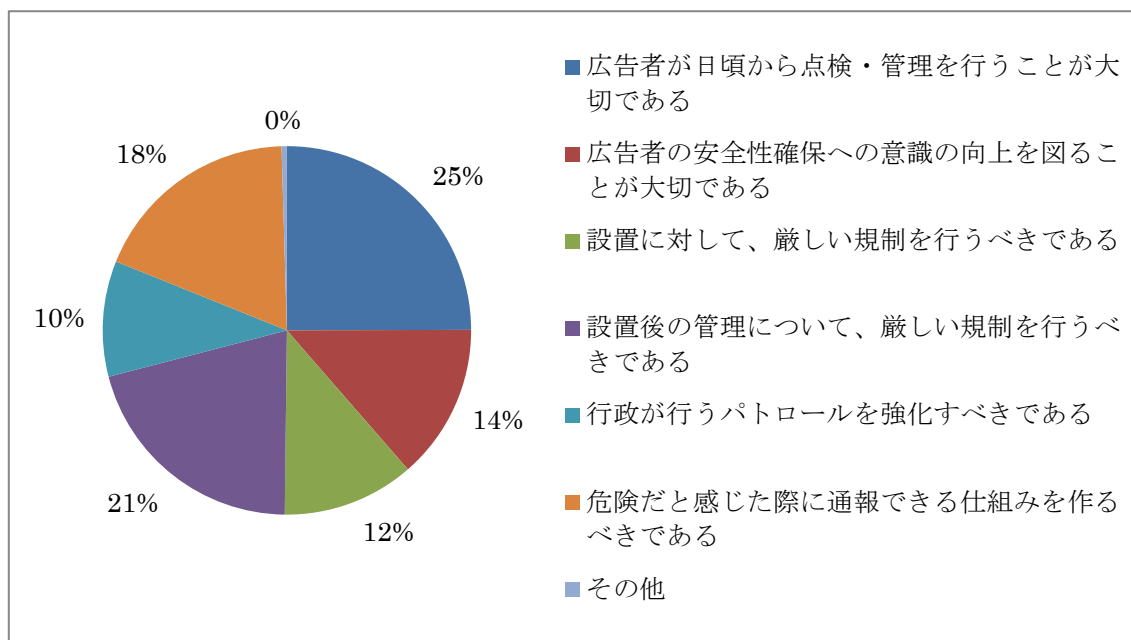
あなたは、屋外広告物の規制についてどうあるべきだと思いますか。もっとも重要だと思うものを1つ選んでください。



Q 8 屋外広告物の安全性の確保について

近年、全国の各地で屋外広告物の落下による人身事故が起こっています。

あなたは、屋外広告物の安全性を確保するためにはどうすればいいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



Q 7では約6割以上の方が「点検管理制度の徹底を図るべきだ」と回答しており、Q 8の行政に求める行為の中でも約2割の方が、「設置後の管理について、厳しい規制を行うべきである」と回答がありました。三重県では、平成30年10月より安全点検制度の拡充を行っており、パトロールなどを通じてこの安全点検制度を徹底します。

また、約4割の方が、「広告者が点検・管理を行うべき」、「意識の向上を図るべき」と回答されました。広告主や広告業者に対して安全点検制度に関する周知活動を行っているところですが、引き続き周知活動に力を入れていきます。

「危険だと感じた際に通報できる仕組みを作るべきである」との回答が約2割あったことに対しては、Q 4の結果とともに、各建設事務所及び各市町（H30現在は、津市、鈴鹿市、松阪市、大紀町）に連絡していただけるよう、周知を行っていきます。

子どもや女性、高齢者の安全安心について

Q9 あなたは、お住まいの地域の中で、「子ども」が犯罪被害から守られていると感じますか。

Q10 あなたは、お住まいの地域の中で、「女性」が犯罪被害から守られていると感じますか。

Q11 あなたは、お住まいの地域の中で、「高齢者」が犯罪被害から守られていると感じますか。

地域の中で子どもが犯罪から守られているかについて、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方が42.7%と、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方の40.3%をやや上回っています。

地域の中で女性が犯罪から守られているかについて、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方が24.5%と、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方の54.9%を大きく下回っています。

地域の中で高齢者が犯罪から守られているかについて、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方が41.3%と、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した方の45.5%をやや下回っています。

図9 子どもに対する安全安心

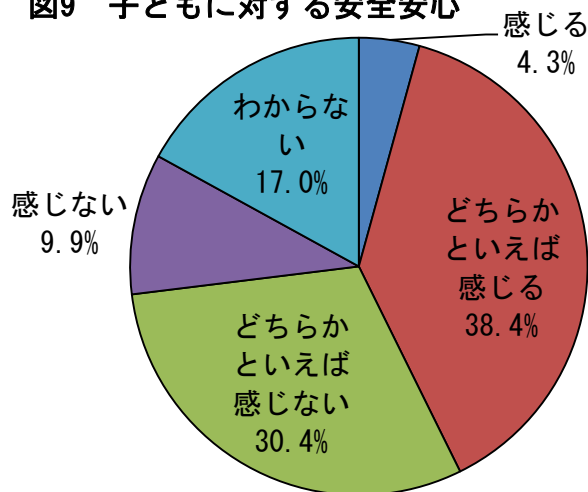


図10 女性に対する安全安心

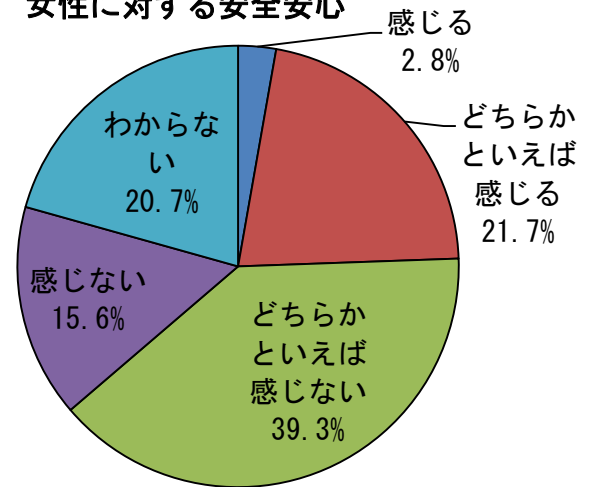
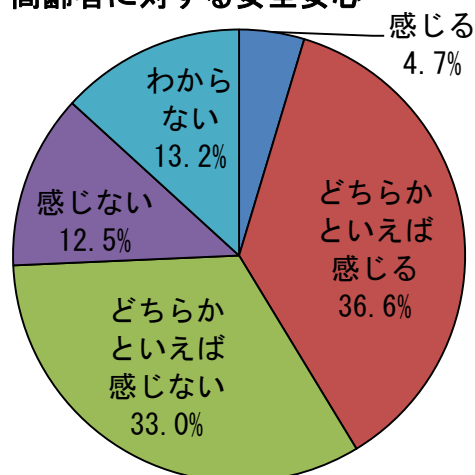


図11 高齢者に対する安全安心

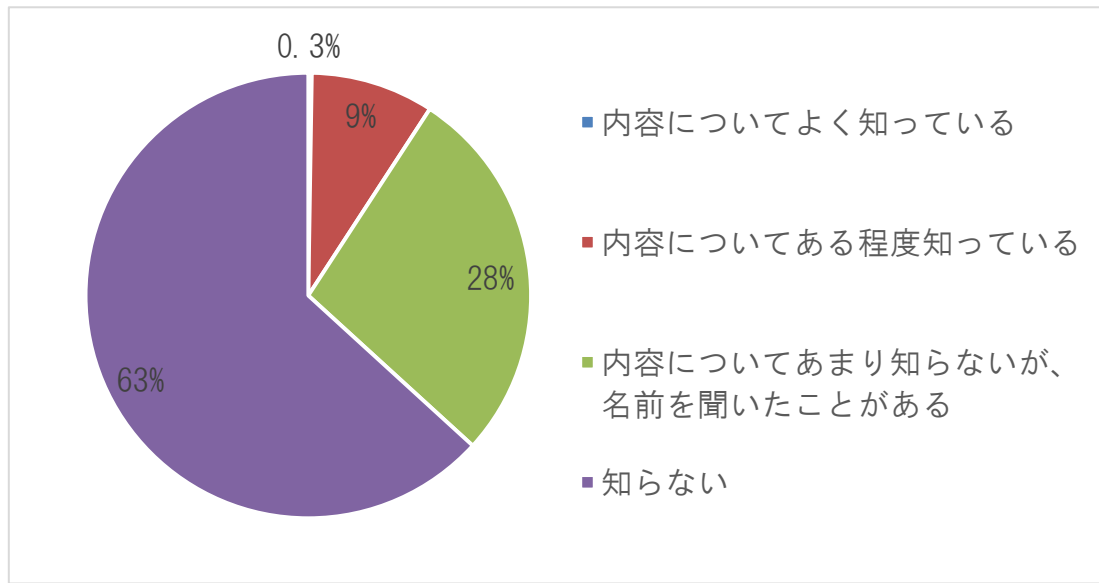


Q12 GAP（ギャップ：Good Agricultural Practice）認証について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で使用される農産物の調達基準となっているGAPという認証制度に、三重県の生産者が挑戦し認証数を伸ばしています（平成30年4月現在、全国8位）。

あなたはこのGAP認証をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

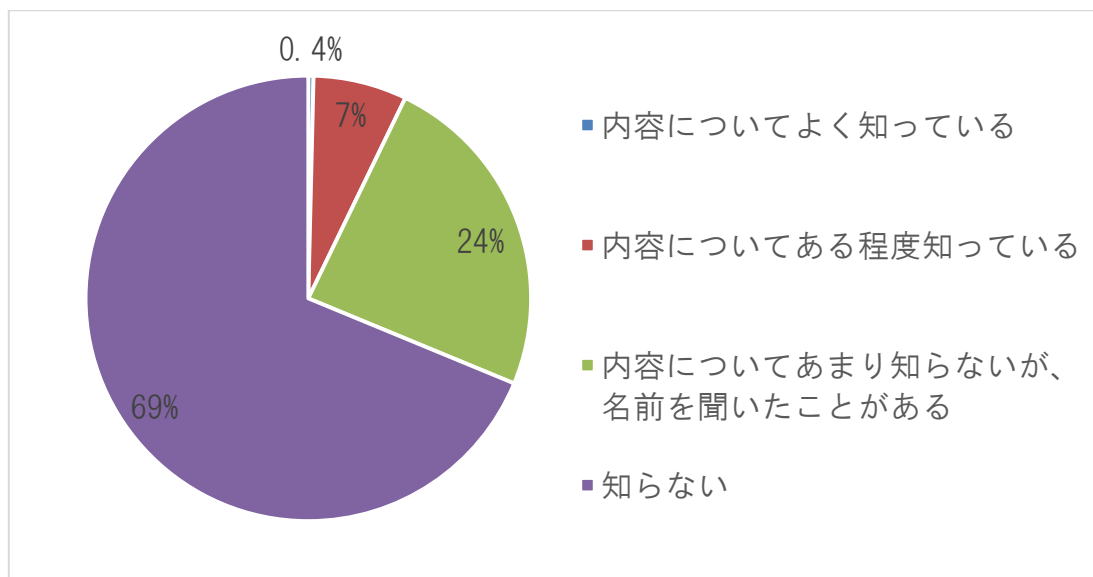
※GAP認証は、食品の安全や農場をとりまく環境保全、農場で働く人の労働安全などの100を超える生産者の取組内容について、第三者機関が審査し、認証しています。



GAPを「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答された方は合わせて73名（9%）で、昨年度調査に比べて2ポイント高くなりました。

Q13 畜産GAP（JGAP家畜・畜産物）認証について

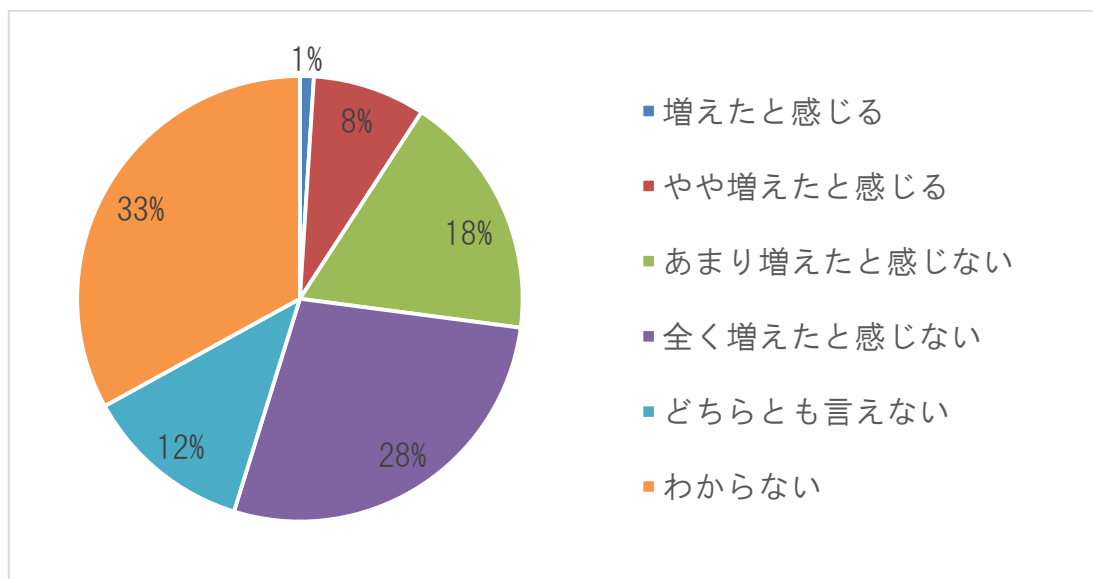
畜産物のGAP認証制度は、平成29年3月にでき、平成30年8月、松阪牛の牧場が東海3県で初めて認証を取得しましたが、あなたはこのGAP認証（畜産物）をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。



畜産GAPを「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答された方は合わせて57名（7%）で、昨年度に比べて3ポイント高くなりました。

Q14 GAP認証を知る機会について

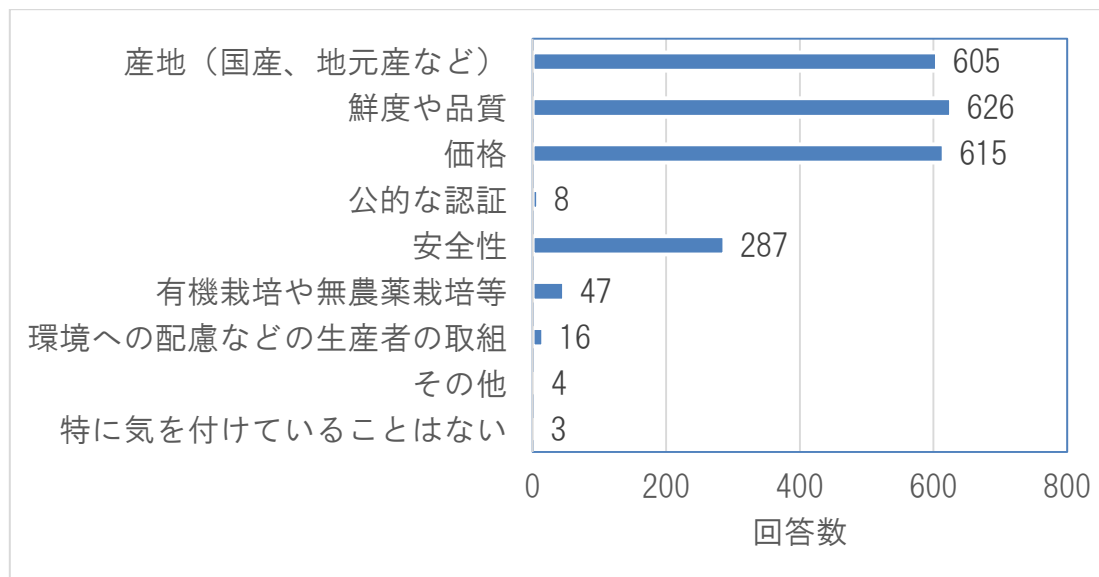
最近、県内の農業高校や生産者がGAP取得に挑戦していることがテレビや新聞に取り上げられたり、県が三重テラスでGAP食材フェアを開催するなどのPRに取り組んでいますが、あなたは、GAP認証について見たり聞いたりする機会が増えたと感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。



GAP認証を知る機会が「増えた」、「やや増えた」と感じると回答された方は73名（9%）で、昨年度に比べて2ポイント高くなりました。

Q15 食品を購入するときの基準について

あなたは、食品（野菜・果物・米・お茶・肉等）を、何を意識して購入していますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

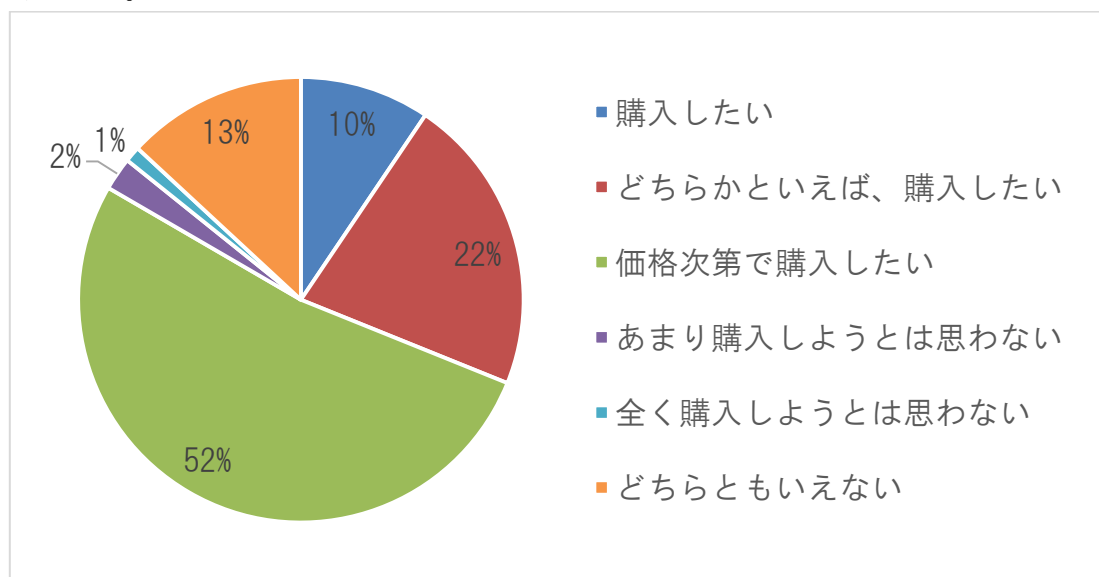


食品を購入するとき何を意識して購入するかをお聞きしたところ、「鮮度や品質」（626名（79%））と回答された方が最も多く、次いで「価格」（615名（77%））、「産地（国産、地元産など）」（605名（76%））の順に多くなりました。

「その他」の回答では、「量」、「美味しそうかどうか」という意見がありました。

Q16 GAP 認証農畜産物の購入について

あなたは、GAP 認証農畜産物を購入したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。



GAP 認証農産物を「購入したい」、「どちらかといえば、購入したい」、「価格次第で購入したい」と回答された方は、662名（83%）でした。